



昔ながらの稲刈りを体験

ー比井小・稲刈りー

9月11日(金)、比井小学校(玉置雅己校長)の2年生と5年生児童ら合わせて16人が、地元農家の方の協力のもと、学校北の水田で稲刈りを体験しました。

児童らは、農家の方から鎌の使い方や稲の刈り方を習ったあと、先生と一緒に稲刈りを開始。最初は慣れない作業に戸惑っていた児童らでしたが、慣れてくると順調に刈り進んでいました。参加した5年生の関慶吾くんは「稲刈りを体験するのは3回目で、最初よりは楽だけど、腰がしんどいです。ご飯にして食べるのが楽しみです」と話していました。

今回稲刈りを体験した水田は、6月1日に同児童らが田植えをした場所で、夏の間は農家の方が世話をしてくれていたもの。収穫したお米は、キヌヒカリおよそ2俵余で、比井小祭でカレーにして振る舞うほか、稲わらはしめ縄にする予定です。



秋の実りを収穫

ー内原小・稲刈りー

10月6日(火)、内原小学校(山口謙校長)の5年生児童43人が、地元農家の方の協力のもと、稲刈りを体験しました。

農家の方から稲の刈り方の説明を受けたあと、先生と一緒に稲刈りを開始。みんなで手分けして周りから刈り進んでいきました。

今回稲刈りを体験したのは、酒井精氏(高家)所有の水田で、同児童らが5月8日に田植えを行った場所。酒井氏は「田植えや稲刈りが、楽しい思い出のひとつになったらと思います」と話していました。

この日収穫したのはもち米で、12月に行う学校での餅つき体験に使う予定です。

参加した前田歩華さんは「初めて稲刈りをしましたが、楽しかったです。自分で植えた稲が大きく育って嬉しかったし、お餅つきも楽しみです」と話していました。

カヌー・カヤックで交流 —日高・堺少年交歓会—

8月20日(木)・21日(金)、堺市立日高少年自然の家において、日高・堺少年交歓会が開催され、日高町から15人、堺市から47人の小学生合わせて62人が参加し、交流しました。

初日は入館式とオリエンテーションで、館の使用方法やカヌー・カヤックの乗り方についての説明を聞きました。その後ライフジャケットを着用し、自然の家の前の海でカヌーやカヤックに挑戦。乗り物を上手に操り、爽やかな海上散歩を楽しみました。



さすまたで応戦 —志賀小・不審者避難訓練—

9月14日(月)、志賀小学校(保田勉校長)において御坊警察署(保富速人署長)の協力のもと、不審者避難訓練が実施されました。

訓練では、不審者役の警察官が4年生の教室に侵入。児童らは一齐に校庭に避難し、先生らがさすまたを使って不審者を取り押さえました。

また、校庭ではきしゅう君の家への駆け込み訓練を実施。参加した児童らは、不審者の特徴を細かく報告していました。

日高町職員採用試験を実施

9月20日(日)、町職員採用1次試験が中央公民館で行われました。

試験には、採用予定人員4人程度の一般行政職に15人、採用予定人員1人程度の保健師に4人の応募がありました。当日は、一般行政職の試験に15人と、保健師の試験に1人が出席。

受験者らは、午前に教養試験と適性検査、午後からは作文試験に、真剣な表情で取り組んでいました。

10月13日(火)に発表された1次合格者は、一般行政職が7人で、保健師が1人。2次試験の面接を経て、11月上旬には最終合格者が発表されます。

